

ゴムクリップ牽引法による胃 ESD の工夫

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

胃 ESD において効率的な粘膜下層剥離を行う上で十分なトラクションを得ることが重要です。しかし、重力による牽引のみでは不十分なこともしばしば経験します。糸付きクリップによる牽引法は一般的に使用されていますが、牽引が噴門部方向へ限定されてしまうことやスコープとの干渉によりちぎれてしまうことがデメリットとして挙げられます。当院では 2022 年以降、ゴムを装着したクリップ（ゴムクリップ）を使用しており、病変対側へ牽引し適切な方向へトラクションをかけられるよう工夫しています。

今回、胃 ESD におけるゴムクリップ牽引法 (RCM: Rubber-clip-method) の有用性の評価致しました。

研究期間

2025 年 6 月から 2025 年 9 月の予定。

研究の対象となる方

2022 年 1 月から 2025 年 6 月の間に、当院で RCM を用いて ESD を施行した方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、鎮痙剤の有無別に病変検出率に差があるかどうかを統計学的に調査します。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号 (ID) と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出

します。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文文化から 10 年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されます。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

宇山 航平 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科

共同研究者

岩上 裕吉 消化器内科

下山 雅之 消化器内科

中谷 泰樹 消化器内科

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20